

昭和大学新聞

昭和大学医学・医療振興財団

第5回昭和上條医療賞授賞式

公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団理事長・山元俊憲が行う顕彰事業「昭和上條医療賞」の授賞式が昨年12月17日、昭和大学50年記念館で執り行われた。同財団は、医学・医療に関連する領域の教育・研究・医療の実践者に対する支援事業を行うことにより、国民の健康増進に貢献することを目的に、平成25年4月に設立された。

その主要事業の一つである顕彰事業「昭和和上條医療賞」は、医学・医療分野の教育および地域保健医療において創造的かつ先駆的な活動を行い、大きな成果を挙げた個人または団体を表彰するものである。今年度は地域保健医療貢献部門に3件が選ばれ、木内祐二選考委員委員長からの審査報告の後、受賞者には同財団の山元理事長から表彰状とメダル、副賞が授与された。受賞者は表彰後にそれぞれ講演し、財団関係者、推薦者、記者などに活動内容を報告した。



学校法人 昭和大学
 発行人 小口勝司
 電話 (3784) 8000 〒142-8555
 東京都品川区旗の台1の5の8
 1部 50円 毎月1回発行

- #### 2月号の内容
- 1面
 - ・第5回昭和和上條医療賞受賞式
 - ・甲狀腺センターオープン
 - ・上條記念館工事進捗状況
 - 2面
 - ・看護専門学校によるキャンドルサービス
 - ・看護専門学校入試結果
 - ・白菊会連合会平成30年度総会が開催
 - ・製別機械技術学会第28回大会でダブル受賞
 - ・第28回日本医療業学会年会でダブル受賞
 - ・内視鏡検査支援システムが薬機法承認
 - ・富士吉田キャンパスに温泉
 - 3面
 - ・富士吉田寮生活の思い出
 - ・みかん収穫祭
 - 4面
 - ・医学部同窓会学術研究助成募集のお知らせ
 - ・就任のお知らせ
 - ・昭和大学サポート寄付制度
 - ・上條記念館座席プレート申込み状況
 - ・創立90周年記念式典のお知らせ
 - ・上條記念館こけら落とし公演のお知らせ

【問合せ先】

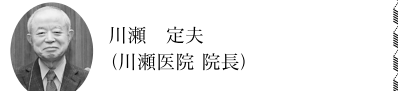
【本紙について】総務課出版・フォト係
 03-3784-8059
 press@ofc.showa-u.ac.jp

【各種募金・寄付・90周年事業について】企画課
 03-3784-8387

【学事について】学務課・大学院課・入学支援課
 03-3784-8022(旗の台)
 0555-22-4403(富士吉田)
 045-985-6503(横浜)
 03-3784-8026(入学支援課)

「昭和和上條医療賞」受賞者（敬称略）

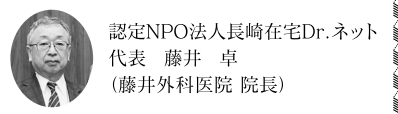
「消化器病研究会から発信した病診連携そして内視鏡による胃がん検診の構築」



川瀬 定夫
 (川瀬医院 院長)

【顕彰理由】
 横浜市北部消化器病研究会で、200回に渡って地域の消化器領域の啓発に積極的に関わり、横浜市における内視鏡の胃がん検診の事業化を推進し、さらに病診連携の推進にも積極的に関わった。

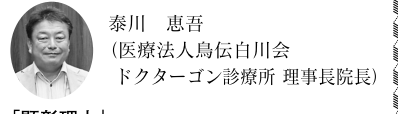
「在宅医療の推進と医療・介護・福祉ネットワークの構築」



認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット
 代表 藤井 卓
 (藤井外科医院 院長)

【顕彰理由】
 約200名の会員を有する長崎在宅Dr.ネットは在宅医療の支援に加え、医療・介護・福祉の連携ネットワークの構築、講演・研修活動などの多様な活動を行っており、長崎市の在宅医療の普及と質的向上に深く関わっている。

「離島へき地における在宅医療の充実と医療水準の向上」



泰川 恵吾
 (医療法人島伝白川会
 ドクターゴーン診療所 理事長院長)

【顕彰理由】
 宮古島の診療所において、離島での訪問診療を含め地域に根付いた診療、特に在宅医療を幅広く精力的に実践しており、さらに多くの常勤職員が勤務し、人材育成にも積極的である。

横浜市北部病院に 甲狀腺センター

4月からオープン決定

このほど昭和大学は昭和大学横浜市北部病院に2019年4月1日、甲狀腺センターをオープンすることを決定した。

同センターはセンター長に福成信博教授（外科系診療センター長）が就任し、甲狀腺ならびに副甲狀腺疾患の患者を対象として、手術件数年間500件、ラジオ波治療年間50件を目標数に、昭和大学における甲狀腺疾患治療に特化した専門的なセンターとなる。

同センターには福成センター長を含め外科医5名、内科医、病理診断医、超音波検査士が所属する予定。その中でも福成教授は甲狀腺治療に長年携わり、これまで5000件以上の甲狀腺手術経験を有し、昨年の10月に開催された第51回日本甲狀腺外科学会学術集会で会長を務めるなど甲狀腺分野において高い評価を受けている。

これまでも横浜市北部病院では年間300件の甲狀腺手術症例を扱ってきたが、同センターのオープンにより昭和大学における甲狀腺治療の診療・教育・研究の更なる発展が期待される。

甲狀腺センターの開設にあたって



2019年4月より昭和大学横浜市北部病院に甲狀腺センターを開設いたします。

私は昭和大学での外科研修を終え、UCSF、Mt. Zion Hospital、甲狀腺専門病院である伊藤病院外科、画像診断部長を歴任し、2005年より現職にありますが、これまでに既に5000件以上の甲狀腺手術を行って参りました。

今では、北部病院外科における甲狀腺手術症例は年間300例を越え、国内でも有数の施設の一つとなりました。

【外科系診療センター長 就任予定】
 福成 信博

は非常に高く、腫瘍性変化のみならず、パセドウ病や橋本病といった甲狀腺ホルモン異常は、通常の臨床で多くの患者さんと遭遇します。薬物治療を行うだけではなく、妊娠授乳時の問題、抗甲狀腺剤の副作用など専門的な知識と経験が要求されます。また、腫瘍性病変においても、安全で確実、しかも整容性に優れた治療が求められ、高度な手術技術が必要であることは言うまでもありませんが、非手術療法としての「エタノール局注療法」「アイソトープ療法」

を行い、また、国内で甲狀腺ラジオ波焼灼治療（RFA）を実践しているのは、昭和大学だけであり、多くの注目を集めております。

甲狀腺疾患に特化したセンターを構築し、外科手術のみではなく、診療科の枠を越えて大学病院として初の「甲狀腺センター」を設立することになりました。昭和大学が丘病院内科や耳鼻科、病理診断科とも更に密接に連携、協力を推進し、昭和大学における甲狀腺疾患治療に特化した専門的なセンター化を計ることにより、甲狀腺指導医および若手医師の育成の場として先端的な教育と研究を行う予定です。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

上條記念館工事進捗状況

本年4月完成予定の昭和大学上條記念館は、昨年10月25日に最後の鉄骨を組み込む上棟式を終え、外装などの工事が進められていく。すでに建設現場の一部ではシートが外され、真新しい外壁が姿を現している。



上條記念館建設現場（1月撮影）

as human, for human
 PARAMOUNT BED

最先端の技術で医療の明日に貢献します。

パラマウントベッド <http://www.paramount.co.jp> フリーダイヤル 0120-03-3648